

竜巻防護の設計に係る考え方の整理に係る修正・対応方針

修正・対応方針	対応期日
<p>0. 目的</p> <p>共通12に係る作業において、決めておく必要があることについて、事前に共通認識を得る。 具体的には共通12の設計説明分類の設定方法及び説明すべき事項の抽出方法について決めておく必要があると認識している。</p>	<p>—</p>
<p>1. 設計説明分類の考え方の整理</p> <p>再処理施設の共通12の作成にあたっては、設計説明分類の設定、設計説明分類を踏まえた説明グループの構成、関連条文の説明方法等の整理が必要となる。 今回の設工認では、既認可からの変更（新規設備、改造設備）が主に説明が必要となる内容となることから、主条文を軸に、構造設計等の関連性を踏まえて分類を設定する。</p> <p>今回、外部衝撃による損傷の防止のうち竜巻を中心に以下の方針で仮決めとして設計説明分類の整理を実施し、代表設備の選定の整理を通じて設計説明分類の見直しの有無について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外部衝撃による損傷の防止の竜巻に関する追加要求に対し、新たに設置する設備（対策設備）と既設設備（防護対象等）で設計が異なることから、「対策設備」、「防護対象等」に分類する。 ○防護対象等については、外部衝撃に対して自ら耐える設計とする屋外設備と建屋内に収納することで防護する屋内設備で設計が異なることから、「屋外」、「屋内」に分類する。 ○構造強度設計等において構造設計等の説明が異なるものについては個別の分類とする。 （飛来物防護ネット、飛来物防護板、建物・構築物、機器配管（屋外）、機器配管（屋内）） <p>➡各設計項目が設定した設計説明分類で網羅されていることを確認するために、縦軸に各設計項目、横軸に各設計説明分類を並べたマトリックスとしてまとめる。</p> <p>設計説明分類から代表設備選定の整理として、代表設備の選定と差分が生じた場合の説明方法について、次の方針で実施することを検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設計説明分類毎に設計要求事項（竜巻（DB, SA）及び関連条文）に対する構造設計をまとめ、重複するものは統合し、その結果、説明項目を網羅出来るよう代表設備を選定する。（代表設備にて説明されない説明項目は、代表設備を追加又は差分説明する。） ○設計説明分類が異なる代表設備間での、説明項目の重複状況について確認し、重複する場合はいずれかの代表設備に統合して説明する。 <p>➡設計要求事項として、設計方針を縦軸、各設備を横軸に展開する。設計方針については基本設計方針から各添付書類の設計方針が紐づくよう上流から展開する。また、各設備については設計方針からの要求を満足するための配慮事項を記載し、重複する説明内容については統合する。</p> <p>代表設備の選定結果を確認し、当初設定した設計説明分類の変更の有無の必要性について検討する。</p>	<p>調整中</p>

竜巻防護の設計に係る考え方の整理に係る修正・対応方針

修正・対応方針	対応期日
<p>2. 説明すべき事項の抽出</p> <p>現状の基本設計方針及びその添付書類では、個別設備の構造に係る設計の考え方を網羅的に示せていないと認識している。</p> <p>上記、1. にて今後整理する代表設備やその差分に対する説明を行うことと並行して基本設計方針と添付書類に各施設の設計の考え方を記述することになるため、それらも含めて説明することで、説明すべき事項は抽出されることになるとの認識である。</p> <p>資料3にて記載する具体的構造の記載の程度については、具体例を示しつつ共通認識を図るべき事柄であると認識している。</p>	調整中
<p>3. 全般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りで確認した内容は、その後の対応作業につなげるため、振り返りの各項目についての対応方針まで記載し、ヒアリングの中で確認、又は、対応方針を社内で整理して後日コメントリストとして提出する方法で対応する。これにより、対応方針を具体化することで作業者の理解が進み、間違った作業内容にならないようにする。 ・対応することの目的を明確にすること、その目的を達成するために実施すべきことが明確になるよう、対応方針を整理する。対応すべき目的を踏まえ、対応の単位を念頭に分類して整理する。 ・本修正・対応方針において、目的として各項目を設定し、その項目ごとに関係する指摘事項を集約し、複数の指摘事項をもとに、具体的に目的に対してどのように修正・対応していくのかを記載する。 ・修正・対応方針の記載に当たっては、指摘事項の内容、修正箇所の内容を確認して、適切な対応方針となるように記載する。 	—
<p>4. 前回ヒアリングコメント概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通12の資料2を作り込むためには設計説明分類が必要である。 ・説明すべき事項について、どういう位置づけになっているか、位置づけを理解してやっているか、共通12の考えに沿って十分に整理ができていなかった。 ・どういう分類にするのかという大枠のイメージが共有出来ていない。何がどこにぶら下がるのか、というところが認識できていない。 ・何が議論したいのかということ意識すること。また、それが分かるよう明確にすること。 ・開口等の説明事項となり得るものは、基本設計方針のどこにあり、それがどこと繋がっているのか明確にすること。 	—